

31 東 広 総 第 475 号
令 和 元 年 8 月 19 日

東京都後期高齢者医療広域連合
情報公開・個人情報保護審議会会長 様

東京都後期高齢者医療広域連合長
山崎 孝明

令和元年度諮問第 1 号

東京都後期高齢者医療広域連合情報公開・個人情報保護審議会条例第 2 条に基づき
下記の事項について諮問します。

記

- 1 外部提供の可否及び通知の免除について（個人情報保護条例第 15 条第 3 項第 5 号、第 15 条第 6 項）

平成 31 年度厚生労働科学特別研究事業に係るレセプト情報の提供について

平成31年度 厚生労働科学特別研究事業に係るレセプト情報の提供について

1. 研究事業の内容

医療費適正化等の観点から、国立大学法人東北大学が実施する「レセプト情報をAIで類型化することによる医療費の分析及び利活用方策の検討のための研究」に対し、厚生労働省の厚生労働行政推進調査事業費補助金を交付し、支援することとなった。

この研究では、過去のレセプト情報から類型化した患者像を生成することにより、傷病ごとの医療費や平均的な診療行為を導出しようとするもので、この患者像をデータヘルス計画の基礎データとして活用することが可能か否か等について検討することを目的として行われる。

研究に当たっては、実際のレセプト情報が必要となるが、研究者が自らレセプト情報を収集することが困難であることから、ソフトウェアで匿名化及び暗号化を施した情報の外部提供をすることが必要となる。

2. レセプトの提供範囲

平成30年5月審査分から平成31年4月審査分までのレセプト情報
(後期高齢者医療に係る医科入院・外来、調剤、DPC)

3. 匿名加工および空白とするレセプト情報項目

匿名加工：管理情報（医療機関番号、保険者番号）

資格（被保険者記号・番号）

過誤再審査管理情報（医療機関番号、保険者番号）

空白：資格（被保険者氏名、第一～四公費負担者番号、第一～四公費受給者番号、
証明書番号、生年月日(日付を空白))

匿名加工とは、特定の個人を識別することができないよう個人情報を加工して得られる個人に関する情報であって、当該個人情報を復元することができないようにしたものという。（個人情報の保護に関する法律 第2条第9項）

4. 情報提供の流れ

- (1)本審議会にて決定後、当広域連合が匿名加工を施したレセプト提供に同意
- (2)同意を受け、東京都国民健康保険団体連合会がレセプト情報の匿名加工を実施
- (3)匿名加工の実施内容を当広域連合が確認
- (4)確認を受けた後、東京都国民健康保険団体連合会は国民健康保険中央会を通して研究者に提供

5. 提供時期

令和元年9月中旬（匿名加工後）

6. 本人に通知しない理由（当広域連合個人情報保護条例第15条第6項）

研究では、偏りが発生しないよう年間レセプト件数が2千万件程度以上の3都道府県のレセプト審査データを1年分（6千万件超）使用する。

そのため、当広域連合のレセプト対象の被保険者も多数になるとともに、匿名加工情報により特定の個人を識別できないため。

7. 保険者のメリット

- ・医療費適正化のためのより精緻な医療費分析が可能となる
- ・データヘルス計画の策定及び実績評価を行う上での有効な材料となる
- ・審査支払機関におけるレセプト審査支援の高度化等に伴う医療費の適正化

8. 研究事業に係る権利

、研究事業で得られた成果の利用については、保険者及び国保連合会が優先的に使用できる予定

9. その他

（1）当審議会で決定後、東京都国民健康保険団体連合会宛にレセプト情報提供の同意書を提出する。

（2）本件にかかる資料のうち、機密情報等を含むものは非公開とする。

31 福保保国第 217 号
令和元年 5 月 17 日

各区市町村国民健康保険主管課長
各国民健康保険組合事務（局）長
東京都後期高齢者医療広域連合保険部長
東京都国民健康保険団体連合会事務局長

殿

東京都福祉保健局保健政策部国民健康保険課長
(公 印 省 略)

平成 31 年度厚生労働科学特別研究事業に係るレセプト情報の提供について

国民健康保険の円滑な運営につきましては、平素より格段の御協力、御尽力を賜り厚く御礼申し上げます。

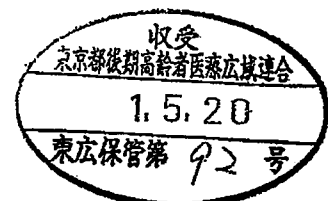
この度、厚生労働省から、医療費適正化等の観点から、「レセプト情報を AI で類型化することによる医療費の分析及び利活用方策の検討のための研究」（代表研究者：藤森研司東北大学教授）に対し、厚生労働行政推進調査事業費補助金を交付し、支援することとなったとの通知がありました（別添「令和元年 5 月 7 日付保国発 0507 第 2 号「平成 31 年度厚生労働科学特別研究事業に係るレセプト情報の提供について」参照）。

本研究は、過去のレセプト情報から類型化した患者像を生成することにより、傷病ごとの医療費や平均的な診療行為を導出しようとするもので、この患者像をデータヘルス計画の基礎データとして活用することが可能か否か等について検討することを目的として行われるものです。

本研究の実施に当たっては、実際のレセプト情報が必要となりますが、研究者が自らレセプト情報を収集することは困難であることから、東京都国民健康保険団体連合会が保険者等からレセプト情報を取得し、あらかじめ研究者から配布されるソフトウェアで匿名化（※）及び暗号化を施した後、国民健康保険中央会を通して研究者に提供いただくことを計画しているとのことです。なお、個人情報保護法上、匿名加工情報は個人情報に該当せず、本人の同意がなくても第三者提供が可能、とのことです。

つきましては、こうした個人情報保護法上の取扱いや、本研究の趣旨を踏まえ、レセプト情報の提供に御協力いただきますようお願いいたします。

※ 「高齢者の医療の確保に関する法律第 16 条の規定により保険者が厚生労働大臣に提供すべき情報等について」（平成 21 年 5 月 15 日付け保発第 0515001 号厚生労働省保険局長通知）に準じた匿名化処理



保国発 0507 第 2 号
令和元年 5 月 7 日

東京都福祉保健局保健政策部
国民健康保険課長 殿

厚生労働省保険局国民健康保険課長
(公 印 省 略)

平成 31 年度厚生労働科学特別研究事業に係るレセプト情報の提供について

国民健康保険の円滑な運営につきましては、平素より格段の御協力、御尽力を賜り厚く御礼申し上げます。

当課では、医療費適正化等の観点から、「レセプト情報を A I で類型化することによる医療費の分析及び利活用方策の検討のための研究」(代表研究者：藤森研司東北大学教授)に対し、厚生労働行政推進調査事業費補助金を交付し、支援することとなりました。

本研究は、過去のレセプト情報から類型化した患者像を生成することにより、傷病ごとの医療費や平均的な診療行為を導出しようとするもので、この患者像をデータヘルス計画の基礎データとして活用することが可能か否か等について検討することを目的として行われるものです。

本研究の実施に当たっては、実際のレセプト情報が必要となりますが、研究者が自らレセプト情報を収集することは困難であることから、東京都国民健康保険団体連合会(以下「国保連合会」という。)が保険者等からレセプト情報を取得し、あらかじめ研究者から配布されるソフトウェアで匿名化(※)及び暗号化を施した後、国民健康保険中央会(以下「国保中央会」という。)を通して研究者に提供いただくことを計画しておりますので、貴管内保険者等及び国保連合会への周知をお願いいたします。

なお、個人情報保護法上、匿名加工情報は個人情報に該当せず、本人の同意がなくても第三者提供が可能となっています。こうした個人情報保護法上の取扱いや、本研究の趣旨を踏まえ、レセプト情報の提供に御協力いただきますようお願いいたします。

※ 「高齢者の医療の確保に関する法律第 16 条の規定により保険者が厚生労働大臣に提供すべき情報等について」(平成 21 年 5 月 15 日付け保発第 0515001 号厚生労働省保険局長通知)に準じた匿名化处理